

# FIXD

## ファーストトラスト TCW オポチュニスティック債券ETF

3月28日時点

### ≫ ファンドの目的

この米国上場投資信託(ETF)は、長期的トータルリターンを最大化を目指します。

### ≫ ファンド概要

|            |           |
|------------|-----------|
| ファンドティッカー  | FIXD      |
| CUSIP      | 33740F805 |
| iNAVティッカー  | FIXDIV    |
| ファンド設定日    | 2/14/2017 |
| 経費率*       | 0.65%     |
| 30日SEC利回り† | 4.52%     |
| 主要取引所      | NASDAQ    |

### ≫ ファンド詳細

- 当ファンドは、アクティブ運用型の上場投資信託(ETF)です。
- 通常の市場環境下では、ファンドは純資産総額(投資借入を含む)の80%以上をフィクスト・インカム証券に投資することで、投資目的の達成を目指します。また、純資産の35%まで投資適格以下の証券に投資することができます。
- 当ファンドのサブ・アドバイザーであるTCW・インベストメント・マネジメント・カンパニー(以下「TCW」)は、債券市場の質、セクター、クーポン、満期などに基づき、相対的に割安と思われる分野にポートフォリオの保有残高を集中させるよう努めます。
- 投資プロセスでは、トップダウンの景気循環分析とボトムアップのファンダメンタルズ分析を組み合わせ、これらの戦略に焦点を当てています。
  - デューレーション:投資プロセスの中核はTCWの長期経済見通しであり、これがデューレーション戦略の原動力となっています。ポートフォリオのリスクは、デューレーションをファンドのベンチマークであるブルームバーク米国総合債券指数の1年以内に制限することで対処します。
  - イールドカーブ:イールドカーブの位置づけは、TCWのファンダメンタルズ見通し、イールドスプレッド関係の評価、トータルリターン分析に基づいています。
  - セクター配分:国内外の債券セクターに投資します。セクター配分のシフトは相対的価値判断に基づき、市場サイクルの顕著な転換点(一般的に頻度は低いが)において、最も魅力的なセクターをオーバーウェイトすることを目指します。
  - 銘柄選定:信用規律を評価し、現金収支の整合性、流動性、担保カバー率、資本構造分析、経営の質などの要素を考慮した集中的なファンダメンタルズ信用分析を行います。
  - 売買:最良執行と好機的な取引機会を真摯に追求することは、投資プロセスにおいて不可欠です。

### ≫ ファンド・サブ・アドバイザー

- TCW Investment Management Company LLCはファンドのサブ・アドバイザーであり、ファンドのポートフォリオを管理します。
  - TCWは「TCW グループ」の完全子会社であり、TCWグループは約40年にわたる投資経験を持つ世界有数の資産運用会社です。
  - TCWグループは、フィクスト・インカム、株式、新興市場、オルタナティブ投資など幅広い商品を運用しています。
  - TCWおよびメットウェスト・ファンド・ファミリーを通じて、TCWは米国最大級のミューチュアル・ファンド・コンプレックスを運用しています。

### ≫ パフォーマンス概要 (%)

|                                   | 3ヶ月   | 年初来   | 1年   | 3年    | 5年   | 10年 | 設定来  |
|-----------------------------------|-------|-------|------|-------|------|-----|------|
| ファンド・パフォーマンス*                     |       |       |      |       |      |     |      |
| 基準価額(NAV)                         | -0.98 | -0.98 | 1.04 | -3.30 | 0.22 | -   | 1.07 |
| 市場価格                              | -1.20 | -1.20 | 0.76 | -3.33 | 0.20 | -   | 1.07 |
| 指数パフォーマンス**                       |       |       |      |       |      |     |      |
| Bloomberg US Aggregate Bond Index | -0.78 | -0.78 | 1.70 | -2.46 | 0.36 | -   | 1.13 |

### ≫ 年次トータルリターン(%)

|                                   | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021  | 2022   | 2023 | 年初来   |
|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|-------|--------|------|-------|
| FIXD                              | -    | -    | -    | -    | 0.23 | 8.96 | 9.15 | -1.12 | -15.35 | 5.71 | -0.98 |
| Bloomberg US Aggregate Bond Index | -    | -    | -    | -    | 0.01 | 8.72 | 7.51 | -1.54 | -13.01 | 5.53 | -0.78 |

### ≫ 3年間の統計

|                                   | 標準偏差 (%) | アルファ  | ベータ  | シャープレシオ | 相関関係 |
|-----------------------------------|----------|-------|------|---------|------|
| FIXD                              | 8.06     | -0.28 | 1.11 | -0.70   | 1.00 |
| Bloomberg US Aggregate Bond Index | 7.24     | -     | 1.00 | -0.67   | 1.00 |

パフォーマンスデータは過去のもので、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではなく、現在のパフォーマンスは提示されたパフォーマンスよりも高い場合も低い場合もあります。投資リターンおよび元本価値は変動し、株式は売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は、[www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com)。

インベストメント・アドバイザーは、一定の資産水準でファンドの投資管理手数料を減額する手数料ブレイクポイントを導入しています。詳細については、ファンドの追加情報ステートメントをご覧ください。

30日SEC利回りは、直近30日間に得られた1株当たり純投資収益を、当該期間の最終日における1株当たり公募価格の上限で除して算出。

\*基準価額(NAV)は、ファンドの純資産(資産から負債を差し引いたもの)をファンド発行口数で割ったものです。リターンは、その他に株式を取引した場合のリターンを表すものではありません。市場価格は、ファンドの基準価額が算出される時点の全米最良気配(「NBBO」)の中点を使用して決定されます。リターンは、1年未満の期間のものを除き、年率平均の総合リターンです。

\*\*各指数のパフォーマンス情報は例示であり、実際のファンド・パフォーマンスを示すものではありません。指数パフォーマンスには管理手数料や売買委託手数料は含まれておらず、表示されたパフォーマンスからそのような手数料や費用は差し引かれていません。インデックスは非管理型であり、投資家はインデックスに直接投資することはできません。

# ファーストラスト TCW オポチュニスティック債券ETF

3月28日時点

## ポートフォリオ情報

|                            |         |
|----------------------------|---------|
| 保有銘柄数                      | 906     |
| 加重平均実効デュレーション <sup>1</sup> | 6.88年数  |
| 加重平均残存期間                   | 7.97年数  |
| 加重平均価格                     | \$91.62 |
| 加重平均最低利回り                  | 5.15%   |

## 満期別エクスポージャー(%)

|        |        |
|--------|--------|
| 0~1年   | -12.53 |
| 1~3年   | 15.11  |
| 3~5年   | 30.74  |
| 5~7年   | 10.76  |
| 7~9年   | 35.50  |
| 10~20年 | 13.55  |
| >20年超  | 6.87   |

1- 利回りが変化した場合の証券価格の変化を反映した、金利変化に対する証券の感応度を示す指標。  
 2信用力および格付情報は、S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インバスターズ・サービス、フィッチ・レーティングス、または同等の格付を有するNRSROを含む、1つ以上の全米格付機関(NRSRO)が付与した格付を反映しています。ある証券が複数のNRSROにより格付けされ、その格付けが同等でない場合は、最も低い格付けが使用されます。サブ・インバースメント・グレード格付とはBB+/Ba1以下の格付をいいます。投資適格格付とはBBB-/Baa3以上の格付をいいます。表示されている信用格付は、ファンドの原証券の発行体の信用力に関するものであり、ファンドやその株式に関するものではありません。米国財務省証券、米国政府機関証券および米国政府機関住宅ローン担保証券は「政府/政府機関」に表示されています。信用格付は変更される場合があります。

## 上位保有10銘柄(%)

|  |       |
|--|-------|
| 米国債, 4.125%, 2029年3月31日満期                | 12.27 |
| 米国債, 4.50%, 期限: 2044年2月15日               | 5.92  |
| 米国債, 4.25%, 2029年2月28日満期                 | 5.32  |
| 米国債, 4%, 期限: 2034年2月15日                  | 5.13  |
| 米国債, 4.25%, 期限: 2054年2月15日               | 4.72  |
| 米国債, 4.50%, 期限: 2026年3月31日               | 4.61  |
| ファニーメイまたはフレディマックTBA, 4%, 期限2052年6月1日     | 3.67  |
| 米国債, 4.25%, 期限: 2027年3月15日               | 2.76  |
| ファニーメイまたはフレディマックTBA, 3.50%, 期日04/01/2052 | 2.27  |
| ファニーメイまたはフレディマックTBA, 4.50%, 期日06/01/2053 | 2.05  |

## ファンドの構成(%)

|               |       |
|---------------|-------|
| 米国政府/エージェンシー  | 40.72 |
| エージェンシーMBS    | 35.53 |
| 投資適格クレジット     | 15.30 |
| ノンエージェンシーMBS  | 7.85  |
| ABS           | 6.11  |
| CMBS          | 3.29  |
| ハイ・イールド・クレジット | 2.79  |
| 新興市場クレジット     | 1.43  |
| 銀行ローン         | 1.38  |
| その他           | 0.05  |

## 信用格付別(%)<sup>2</sup>

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 政府/政府機関(現金および同等物) | 61.80 |
| AAA               | 3.27  |
| AA+               | 0.26  |
| AA                | 2.11  |
| AA-               | 1.02  |
| A+                | 0.52  |
| A                 | 2.09  |
| A-                | 4.33  |
| BBB+              | 2.71  |
| BBB               | 4.58  |
| BBB-              | 4.52  |
| BB+               | 2.48  |
| BB                | 1.54  |
| BB-               | 1.12  |
| B+                | 0.31  |
| B                 | 0.67  |
| B-                | 1.41  |
| CCC+              | 0.24  |
| CCC               | 1.48  |
| CCC-              | 0.51  |
| CC                | 1.49  |
| C                 | 0.06  |
| D                 | 1.45  |
| その他               | 0.03  |

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料および費用を慎重に検討する必要があります。目論見書または要約目論見書入手するには、First Trust Portfolios L.P. (1-800-621-1675)に連絡するか、[www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com)。この目論見書または要約目論見書にはファンドに関するその他情報が記載されています。投資前に目論見書または要約目論見書をよくお読みください。

## リスクに関する考察

ファンドへの投資により損失を被る可能性があります。ファンドへの投資は銀行の預金ではなく、保険も保証もありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通例の仲介手数料が発生する場合があります。ファンドのリスクの詳細については、各ファンドの目論見書および追加情報説明書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性を示すものではありません。

資産担保証券は負債証券の一種であり、一般に、その全額が企業の信用によって裏付けられるものではありません。米国政府は、特に景気後退期において、原資産またはローンの債務不履行リスクの影響を受けます。投資信託とは異なり、ファンドの株式は、非常に大規模な設定/償還単位で、権限を付与された参加者のみがファンドから直接償還することができます。ファンドの指定参加者が設定/償還注文を進めることができます。他の指定参加者が設定や償還に踏み切れない場合、ファンド株式はファンドの純資産総額に対してプレミアム/ディスカウントで取引され、場合によっては上場廃止に直直し、ビッド/アスク・スプレッドが拡大する可能性があります。

銀行ローンへの投資は、他の負債証券と同様のリスクを伴いますが、利用可能な公開情報が限られていることや、ローンの借り手がレバレッジを効かせている可能性があり、市場や経済状況の変化により大きな悪影響を受ける傾向があることから、リスクが高まる可能性があります。銀行ローンの流通市場では、不規則な取引、広いビッド/アスク・スプレッド、および取引決済期間の延長が発生する可能性があります。

金利低下局面において、発行体が高利回りの債券をコールした場合、ファンドは低金利での資金運用を余儀なくされる可能性があり、その結果、ファンドのインカムが減少する可能性があります。

設定と償還の全部または一部が現物ではなく現金で行われるファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

担保付ローン債務(CLO)には、担保証券からの分配金が利息やその他の支払いに十分でない可能性、担保の質が低下したり債務不履行に陥る可能性、CLOへの投資が他のクラスやトランシェに劣後する可能性、証券の複雑な構造が投資時に十分に理解されず発行体との紛争や予期せぬ投資結果を生む可能性など、さらなるリスクが伴います。

ファンドは、取引相手がその義務を履行しないことにより、ファンドに大きな金融損失をもたらすリスクを負う可能性があります。

コバナン・ライト・ローンには、従来のローンに比べて維持条項が少なく、貸し手が借り手の金融パフォーマンスを監視し、一定の基準に違反した場合に債務不履行を宣言できる条項が含まれている場合があります。これはファンドが問題を軽減する妨げとなり、ファンドの投資損失へのエクスポージャーを増大させる可能性があります。

負債証券の発行体またはその他の債務者は、配当、利息および/または元本の支払期日を守れないか、または守ろうとしない可能性があり、その結果、証券の価値が下落する可能性があります。

クレジット・デフォルト・スワップへの投資は、ファンドが参照債務に直接投資する場合よりも大きなリスクを伴います。これらのリスクには、一般的な市場リスク、流動性リスク、カウンターパーティ・リスク、信用リスク、レバレッジ・リスクが含まれます。

信用格付機関が付与する格付は、格付機関の意見であり、信用度の絶対的な基準ではなく、証券のリスクを評価するものではありません。信用格付けの決定過程における欠点や非効率性は、ファンドが保有する銘柄情報の信用格付けや、その認知または実際の信用リスクに悪影響を及ぼす可能性があります。

通貨為替レートや米国以外の通貨の相対価値の変動は、ファンドの投資価値やファンドの株式価値に影響を与える可能性があります。

現在市況リスクとは、特定の投資対象またはファンドの株式全般が、現在の市況により値下がりするリスクのことです。インフレに対抗する手段として、連邦準備制度理事会(FRB)および特定の外国の中央銀行は金利を引き上げており、今後も引き上げる見込みであるほか、FRBは以前に実施した量的緩和を撤回する意向を表明しています。最近および将来起こりうる銀行の倒産は、より広範な銀行業界や市場全般を混乱させ、金融機関や経済全体に対する信用を低下させる可能性があり、また市場のボラティリティを高め、流動性を低下させる可能性もあります。その他、ヨーロッパではロシアとウクライナの間で、中東ではイスラエルとハマスやその他の武装勢力の間で武力紛争が続いており、ロシア、ヨーロッパ、中東、アメリカの市場において、重大な市場の混乱やボラティリティの低下を引き起こしており、今後も引き起こす可能性があります。このような敵対行為や制裁措置は、ファンドのパフォーマンスや流動性だけでなく、特定のファンド投資にも大きな影響を及ぼしており、今後もその可能性があります。COVID-19の世界的大流行、あるいは将来の公衆衛生上の危機、およびそれに続く政府機関や中央銀行による政策は、世界の金融市場に大きな変動と不確実性をもたらし、今後ももたらし続ける可能性があり、世界の成長見通しにマイナスの影響を与えます。

ファンドはサイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けます。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加的なコンプライアンス費用、及び/又は金融損失を被る可能性があります。

負債証券への投資は発行体の信用リスクにさらされ、負債証券の価値は一般的に金利の変化と反比例して変動します。また、負債証券は一般的に証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価も困難です。

デリバティブ商品の利用には、カウンターパーティ・リスク、評価リスク、ボラティリティ・リスク、流動性リスクなど、有価証券への直接投資とは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産、指数または金利の価格または価値の不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって拡大する可能性があります。

ディストレスト証券は投機的で、流動性が低いか、出来高が少ないことが多いため、評価が難しく、債務不履行のリスクが大きい可能性があります。

新興市場証券への投資は一般的に投機的とみなされ、政治、経済、規制状況に関する追加的なリスクを伴います。

株式は短期間または長期間にわたって大幅に価格が下落する可能性があり、そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、特定の国、企業、業界、または市場のセクターのみで発生する場合もあります。

次ページのその他のリスクをご覧ください。

# ファーストラスト TCW オポチュニスティック債券ETF

3月28日時点

## リスクに関する考察(続き)

エクステンション・リスクとは、金利が上昇した場合、発行体(またはその他債務当事者)による特定の債務の返済が予想よりも遅くなり、これらの債務証券の価値が下落するリスクのこと。金利上昇は負債証券のデフレーションを長期化させ、時価総額を金利変動の影響を受けやすくする傾向があります。

変動金利証券は、基準金利の水準に応じてクーポンレートが変動する仕組みになっています。その結果、変動金利証券のクーポンは一般的に金利低下環境下で低下し、ファンドが証券から受け取るインカムが減少する原因となります。変動金利証券のクーポン・レートは、証券の条件に従って定期的にリセットされます。そのため、金利上昇局面では、クーポン・レートのリセット頻度が低い変動金利証券は、市場金利の変動に遅れをとる可能性があります。

先渡契約市場は実質的に規制されておらず、非流動性の期間が長かったり、取引出来高が異常な1つまたは複数のインデックスまたはモデルの構成銘柄となる可能性があります。インフレが進行する時点では、ファンドの資産と分配金の現在価値が下落する可能性があります。TIPSのようなインフレ連動債には、その他債券と同様のリスクがあります。TIPSの保有者は満期時に額面金額を下回ることなく受け取ることができ、ファンドが流通市場で元本総額が過去に上方修正されたTIPSを購入し、その後インフレ率が低下する定期があった場合、ファンドは満期時に投資額を下回る金額を受け取り、損失を被る可能性があります。

金利リスクとは、金利の上昇によりファンドのポートフォリオの負債証券の価値が下落するリスクのことです。金利・リスクは一般的に、短期的負債証券では低く、長期的負債証券では高くなります。レバレッジにより、当初投資した金額を上回る損失が発生する可能性があります。また損失の発生率が加速する可能性があります。レバレッジは、ファンドの資産またはアセットクラスへのエクスポージャーの増減の影響を拡大する傾向があり、場合によっては大幅に拡大し、ファンドの株式価値が不安定になり、市場の変動に敏感になる可能性があります。

ファンドが参照金利としてロンドン銀行間取引金利(「LIBOR」)を使用する変動金利または変動金利の債務に投資する限りにおいて、ファンドはLIBORリスクの影響を受けます。LIBORは参照金利として利用できなくなり、担保付きオーバーナイト・ファイナンス・レート(以下「SOFR」)を含む代替参照金利がLIBORと類似する、または同じ価値や経済的同等性を生み出す保証はありません。LIBORの利用不能または代替は、特定のファンド投資のパフォーマンス、流動性またはリターンに影響を与える可能性があります。LIBORからの移行がファンドまたはファンドが投資する特定の金融商品に及ぼす潜在的な影響を予測することは困難であり、ファンドに損失が生じる可能性があります。

ファンド投資の中には、販売制限の対象となったり、店頭取引や出来高が限られていたり、活発な取引市場がなかったりするものがあります。流動性の低い証券はディスカウントで取引され、市場価値が大きく変動する可能性があります。アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオ・マネジャーは、望ましい結果をもたらさない可能性のある投資手法やリスク分析を適用します。

市場リスクとは、特定の証券やファンドの株式全般が値下がりするリスクのことです。証券は、一般的な経済情勢、政治的な出来事、規制や市場の動向、金利の変化、証券価格の動向の認識などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式が値下がりしたり、他の投資を下回る可能性があります。また、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他公衆衛生上の問題、景気後退、自然災害、その他の事象など、地域的、地域的、世界的な事象がファンドに重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

ファンドは、マーケットメーカーの数が限られているためにファンド株式の市場が活発でない可能性があるなど、多くの市場取引リスクに直面しています。マーケットメイカーや指定参加者が市場の緊張時にその役割を縮小したり退いたりすることを決定した場合、ファンドのポートフォリオ証券の基礎的価値とファンドの市場価格との関係を維持する裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

現金を保有したり、マネーマーケットや短期証券に投資するファンドは、投資目的を達成する可能性が低く、損失を被る可能性があります。モーゲージ関連証券は、不動産の価値に影響を与える不利な経済的、政治的、または規制的事象の影響を受けやすくなっています。

地方債の価値は、現地の政治・経済情勢や発展により悪影響を受ける可能性があります。その他、税法の不利な変更、内国歳入庁や州税務当局による不利な解釈、発行体のコンプライアンス違反などにより、地方債からの所得が課税対象となる可能性があります。

政府/政府機関以外の発行体が提供する証券には政府機関保証がないため、発行体の信用リスクにさらされます。非政府機関証券は「店頭取引」されることが多く、市場が限られているため評価しにくい場合があります。

非米国の発行体の証券は、為替変動、政治的リスク、源泉徴収、流動性の欠如、適切な金融情報の欠如、非米国の発行体に影響を与える為替管理規制などの追加的なリスクの対象となります。ファンドおよびファンド・アドバイザーは、統制や手続きを通じて様々な運用リスクの軽減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドではカスタディを含む様々なサービスを第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や障害が発生した場合、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動しやすく、オプションの効果的な利用は、そうすることが望ましいと思われる時期にオプション・ポジションを終了させるファンドの能力にかかっています。ファンドが特定の時期に、または許容できる価格で決済取引を行える保証はありません。OTCデリバティブは取引所での取引がないため、OTCデリバティブの当事者は、カウンターパーティーリスク、流動性リスク、評価リスクの高いレベルに直面します。

ポートフォリオの入れ替わりが激しいと、取引コストが高くなり、株主の税負担が大きくなる可能性があります。優先株式は、普通株式と債券の両方の特徴を併せ持っています。優先株式は通常、企業収益に対する優先順位においてその他負債証券に劣後するため、それらの負債証券よりも大きな信用リスクを負うこととなります。

ファンドの株式の市場価格は、一般に、ファンドの純資産総額(以下「基準価額」)の変動および取引所における株式の相対的な需給に応じて変動し、ファンドのインベストメント・アドバイザーは、株式が基準価額を下回る、または基準価額(NAV)以上で取引されるかどうかを予測することはできません。期限前返済リスクとは、債券の発行体が予定された満期日より前に元本を返済するリスクのことです。期限前償還が可能な負債証券は、金利が低下している時期には、ファンドが期限前償還で得た資金をより低い金利で再投資する必要が生じる可能性があるため、利益の可能性が低くなる場合があります。

ファンドのカウンターパーティが債務不履行に陥り、ファンドが担保を回収するのが遅れたり妨げられたりした場合、または担保の価値が不十分な場合、ファンドは損失を被る可能性があります。ファンドが制限付き有価証券を短期間で売却できない場合や、現在価値を下回る価格でしか売却できない場合があります。ローンを発行する企業はレバレッジが高いため、金利リスクの影響を受けやすい傾向があります。

延滞、債務不履行、倒産ローンは通常、投資適格以下の格付けですが、格付けされていない場合もあります。その時点では、これらのローンに関連するリスクは高利回りの確定インカム商品のリスクと同様です。シニア・ローン市場では、レンダーの保護が弱いローンが大幅に増加しており、将来、回収額や取引水準に影響を与える可能性があります。

単一のアセットクラス、国、地域、産業、またはセクターに大きなエクスポージャーを持つファンドは、広範に分散されたファンドよりも、経済や政治の不利な展開の影響をより大きく受ける可能性があります。ソブリン債への投資は、債務の返済を管理する政府当局が元本および/または利息を返済期限に返済する意思がない、または返済できない可能性があるため、特別なリスクを伴います。経済情勢が不安定な場合、これらの証券の価格は、コーポレート債やその他の政府債務よりも不安定になる可能性があります。

スワップ契約は、有価証券への直接投資よりも大きなリスクを伴う可能性があり、原資産または原資産が予想通りに機能しない場合には損失が生じる可能性があります。また、多くのスワップは店頭で取引されており、流動性が低いと考えられる場合があります。取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止されることがあります。ファンドが取引所の上場を維持するための要件が引き続き満たされる、または変更されないという保証はありません。

連邦政府機関および米国政府支援機関が発行または保証する証券は、米国政府の全信額と信用によって裏付けられる場合もあれば、裏付けられない場合もあります。ファンドが保有する証券またはその他資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される場合があります。これは、その資産または証券が集中取引所で取引されていないため、または市場の混雑時や流動性の低下時に発生する可能性があります。公正評価された資産や証券を含め、市場相場以外の手法で評価された保有銘柄は、市場相場を用いた場合よりも日数による評価の変動が大きくなる可能性があります。ファンドがポートフォリオのポジションをいつでも設定された評価額で売却または決済できる保証はありません。

発行時、TBA(「発表予定」)、遅延受渡し、またはフォワード・コミットメント・ベースで有価証券を購入すると、投資レバレッジが生じ、ファンドのボラティリティやデフォルトへのエクスポージャーが高まる可能性があります。First Trust Advisors L.P.はファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.はファンドの販売会社であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。

本情報は、特定の個人に対する投資推奨や助言を意図したものではありません。本情報を提供することにより、ファースト・トラストは、ERISA、内国歳入法、その他いかなる規制の枠組みにおける受託者の立場から助言を行うことを約束するものではありません。金融の専門家は、投資リスクを独自に評価し、独立した判断を行う責任があります。顧客にとって投資が適切かどうかの判断定義

標準偏差は、価格の変動性(リスク)を示す指標です。アルファは、投資対象がベンチマークに対してリスク調整後でどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームしているかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動性の指標です。シャープレシオは、ボラティリティの単位当たりの超過報酬の尺度です。相関係数とは、パフォーマンスの類似性の尺度です。Bloomberg U.S. Aggregate Bond Index は、米国債、政府関連機関債、社債、MBS、ABS、CMBS を含む、投資適格級の米国ドル建て固定利付債市場をカバーしています。

### >> Fund Objective

This exchange-traded fund seeks to maximize long-term total return.

### >> Fund Facts

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| Fund Ticker         | FIXD      |
| CUSIP               | 33740F805 |
| Intraday NAV        | FIXDIV    |
| Fund Inception Date | 2/14/17   |
| Expense Ratio*      | 0.65%     |
| 30-Day SEC Yield†   | 4.52%     |
| Primary Listing     | Nasdaq    |

### >> Fund Description

- >> The First Trust TCW Opportunistic Fixed Income ETF is an actively managed exchange-traded fund.
- >> Under normal market conditions, the fund will seek to achieve its investment objective by investing at least 80% of its net assets (including investment borrowings) in fixed income securities. The fund may invest up to 35% of its net assets in securities rated below investment grade.
- >> The fund's sub-advisor, TCW Investment Management Company LLC ("TCW") will attempt to focus the portfolio holdings in areas of the fixed income market, based on quality, sector, coupon or maturity, that they believe to be relatively undervalued.
- >> The investment process uses a combination of top-down business cycle analysis and bottom-up fundamental research, focusing on these strategies:
  - Duration: At the core of the investment process is TCW's long-term economic outlook, which drives the duration strategy. Portfolio risk is addressed through the limitation of duration to within one year of the fund's benchmark, the Bloomberg U.S. Aggregate Bond Index.
  - Yield Curve: Yield curve positioning is based on TCW's fundamental outlook, evaluation of yield spread relationships and total return analysis.
  - Sector Allocation: The portfolio is allocated across domestic and international fixed income sectors. Shifts in sector allocations are based on relative value decisions, seeking to overweight the most attractive sectors at pronounced, though generally infrequent, turning points in market cycles.
  - Issue Selection: Security selection involves evaluation of credit discipline and intensive fundamental credit analysis considering factors such as cash flow consistency, liquidity, collateral coverage, capital structure analysis and management quality.
  - Trading: Diligent pursuit of best execution and opportunistic trading opportunities are essential to the investment process.

### >> Fund Sub-Advisor

- >> TCW Investment Management Company LLC is the sub-advisor to the fund and will manage the fund's portfolio.
  - TCW is a wholly owned subsidiary of The TCW Group, Inc. ("TCW Group"), which is a leading global asset management firm with nearly five decades of investment experience.
  - TCW Group manages a broad range of products across fixed income, equities, emerging markets and alternative investments.
  - Through the TCW and MetWest Fund Families, TCW manages one of the largest mutual fund complexes in the U.S.

### >> Performance Summary (%)

|                                   | 3 Month | YTD   | 1 Year | 3 Year | 5 Year | 10 Year | Since Fund Inception |
|-----------------------------------|---------|-------|--------|--------|--------|---------|----------------------|
| <b>Fund Performance*</b>          |         |       |        |        |        |         |                      |
| Net Asset Value (NAV)             | -0.98   | -0.98 | 1.04   | -3.30  | 0.22   | —       | 1.07                 |
| After Tax Held                    | -1.41   | -1.41 | -0.67  | -4.48  | -1.06  | —       | -0.15                |
| After Tax Sold                    | -0.58   | -0.58 | 0.59   | -2.98  | -0.34  | —       | 0.32                 |
| Market Price                      | -1.20   | -1.20 | 0.76   | -3.33  | 0.20   | —       | 1.07                 |
| <b>Index Performance**</b>        |         |       |        |        |        |         |                      |
| Bloomberg US Aggregate Bond Index | -0.78   | -0.78 | 1.70   | -2.46  | 0.36   | —       | 1.13                 |

### >> Calendar Year Total Returns (%)

|                                   | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021  | 2022   | 2023 | YTD   |
|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|-------|--------|------|-------|
| FIXD                              | —    | —    | —    | —    | 0.23 | 8.96 | 9.15 | -1.12 | -15.35 | 5.71 | -0.98 |
| Bloomberg US Aggregate Bond Index | —    | —    | —    | —    | 0.01 | 8.72 | 7.51 | -1.54 | -13.01 | 5.53 | -0.78 |

### >> 3-Year Statistics

|                                   | Standard Deviation (%) | Alpha | Beta | Sharpe Ratio | Correlation |
|-----------------------------------|------------------------|-------|------|--------------|-------------|
| FIXD                              | 8.06                   | -0.28 | 1.11 | -0.70        | 1.00        |
| Bloomberg US Aggregate Bond Index | 7.24                   | —     | 1.00 | -0.67        | 1.00        |

*Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting [www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com).*

\*The Investment Advisor has implemented fee breakpoints, which reduce the fund's investment management fee at certain assets levels. Please see the fund's Statement of Additional Information for full details.

†30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period.

\*\*NAV returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. **After Tax Held** returns represent return after taxes on distributions. Assumes shares have not been sold. **After Tax Sold** returns represent the return after taxes on distributions and the sale of fund shares. Returns do not represent the returns you would receive if you traded shares at other times. **Market Price** returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative. After-tax returns are calculated using the historical highest individual federal marginal income tax rates and do not reflect the impact of state and local taxes. Actual after-tax returns depend on the investor's tax situation and may differ from those shown. The after-tax returns shown are not relevant to investors who hold their fund shares through tax-deferred arrangements such as 401(k) plans or individual retirement accounts.

\*\*\*Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

## » Portfolio Information

|                                     |            |
|-------------------------------------|------------|
| Number Of Holdings                  | 906        |
| Weighted Average Effective Duration | 6.88 Years |
| Weighted Average Maturity           | 7.97 Years |
| Weighted Average Price              | \$91.62    |
| Weighted Average Yield-to-Worst     | 5.15%      |

## » Maturity Exposure (%)

|             |        |
|-------------|--------|
| 0-1 Year    | -12.53 |
| 1-3 Years   | 15.11  |
| 3-5 Years   | 30.74  |
| 5-7 Years   | 10.76  |
| 7-9 Years   | 35.50  |
| 10-20 Years | 13.55  |
| >20 Years   | 6.87   |

## » Top Holdings (%)

|  |       |
|--|-------|
| U.S. Treasury Note, 4.125%, due 03/31/2029           | 12.27 |
| U.S. Treasury Bond, 4.50%, due 02/15/2044            | 5.92  |
| U.S. Treasury Note, 4.25%, due 02/28/2029            | 5.32  |
| U.S. Treasury Note, 4%, due 02/15/2034               | 5.13  |
| U.S. Treasury Bond, 4.25%, due 02/15/2054            | 4.72  |
| U.S. Treasury Note, 4.50%, due 03/31/2026            | 4.61  |
| Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 4%, due 06/01/2052    | 3.67  |
| U.S. Treasury Note, 4.25%, due 03/15/2027            | 2.76  |
| Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 3.50%, due 04/01/2052 | 2.27  |
| Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 4.50%, due 06/01/2053 | 2.05  |

## » Fund Composition (%)

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| US Government/Agency    | 40.72 |
| Agency MBS              | 35.53 |
| Investment Grade Credit | 15.30 |
| Non-Agency MBS          | 7.85  |
| ABS                     | 6.11  |
| CMBS                    | 3.29  |
| High Yield Credit       | 2.79  |
| Emerging Market Credit  | 1.43  |
| Bank Loans              | 1.38  |
| Other                   | 0.05  |

## » Credit Quality (%)<sup>2</sup>

|                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| Government/Agency (cash & equiv) | 61.80 |
| AAA                              | 3.27  |
| AA+                              | 0.26  |
| AA                               | 2.11  |
| AA-                              | 1.02  |
| A+                               | 0.52  |
| A                                | 2.09  |
| A-                               | 4.33  |
| BBB+                             | 2.71  |
| BBB                              | 4.58  |
| BBB-                             | 4.52  |
| BB+                              | 2.48  |
| BB                               | 1.54  |
| BB-                              | 1.12  |
| B+                               | 0.31  |
| B                                | 0.67  |
| B-                               | 1.41  |
| CCC+                             | 0.24  |
| CCC                              | 1.48  |
| CCC-                             | 0.51  |
| CC                               | 1.49  |
| C                                | 0.06  |
| D                                | 1.45  |
| NR                               | 0.03  |

<sup>1</sup>A measure of a security's sensitivity to interest rate changes that reflects the change in a security's price given a change in yield.

<sup>2</sup>The credit quality and ratings information presented reflect the ratings assigned by one or more nationally recognized statistical rating organizations (NRSROs), including S&P Global Ratings, Moody's Investors Service, Inc., Fitch Ratings, or a comparably rated NRSRO. For situations in which a security is rated by more than one NRSRO and the ratings are not equivalent, the lowest ratings are used. Sub-investment grade ratings are those rated BB+/Ba1 or lower. Investment grade ratings are those rated BBB-/Baa3 or higher. The credit ratings shown relate to the creditworthiness of the issuers of the underlying securities in the fund, and not to the fund or its shares. U.S. Treasury, U.S. Agency and U.S. Agency mortgage-backed securities appear under "Government/Agency". Credit ratings are subject to change.

**You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Portfolios L.P. at 1-800-621-1675 or visit [www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com) to obtain a prospectus or summary prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus or summary prospectus should be read carefully before investing.**

## Risk Considerations

**You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus and Statement of Additional Information for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.**

Asset-backed securities are a type of debt security and are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government and are subject to the risk of default on the underlying asset or loan, particularly during periods of economic downturn.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

Investments in bank loans are subject to the same risks as other debt securities, but the risks may be heightened because of limited public information available and because loan borrowers may be leveraged and tend to be more adversely affected by changes in market or economic conditions. The secondary market for bank loans may be subject to irregular trading activity, wide bid/ask spreads and extended trade settlement periods.

During periods of falling interest rates if an issuer calls higher-yielding debt instruments, a fund may be forced to invest the proceeds at lower interest rates, likely resulting in a decline in the fund's income.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

Collateralized loan obligations ("CLOs") carry additional risks, including the possibility that distributions from collateral securities will not be adequate to make interest or other payments, the quality of the collateral may decline in value or default, the possibility that the investments in CLOs are subordinate to other classes or tranches, and the complex structure of the security may not be fully understood at the time of investment and may produce disputes with the issuer or unexpected investment results.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

Covenant-lite loans contain fewer maintenance covenants than traditional loans and may not include terms that allow the lender to monitor the financial performance of the borrower and declare a default if certain criteria are breached. This may hinder a fund's ability to mitigate problems and increase a fund's exposure to losses on such investments.

An issuer or other obligated party of a debt security may be unable or unwilling to make dividend, interest and/or principal payments when due and the value of a security may decline as a result.

An investment in credit default swaps involves greater risks than if a fund had invested in the reference obligation directly. These risks include general market, liquidity, counterparty, credit and leverage risks.

Ratings assigned by a credit rating agency are opinions of such entities, not absolute standards of credit quality and they do not evaluate risks of securities. Any shortcomings or inefficiencies in the process of determining credit ratings may adversely affect the credit ratings of the securities held by a fund and their perceived or actual credit risk.

Changes in currency exchange rates and the relative value of non-US currencies may affect the value of a fund's investments and the value of a fund's shares.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. As a means to fight inflation, the Federal Reserve and certain foreign central banks have raised interest rates and expect to continue to do so, and the Federal Reserve has announced that it intends to reverse previously implemented quantitative easing. Recent and potential future bank failures could result in disruption to the broader banking industry or markets generally and reduce confidence in financial institutions and the economy as a whole, which may also heighten market volatility and reduce liquidity. Ongoing armed conflicts between Russia and Ukraine in Europe and among Israel, Hamas and other militant groups in the Middle East, have caused and could continue to cause significant market disruptions and volatility within the markets in Russia, Europe, the Middle East and the United States. The hostilities and sanctions resulting from those hostilities have and could continue to have a significant impact on certain fund investments as well as fund performance and liquidity. The COVID-19 global pandemic, or any future public health crisis, and the ensuing policies enacted by governments and central banks have caused and may continue to cause significant volatility and uncertainty in global financial markets, negatively impacting global growth prospects.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

Distressed securities are speculative and often illiquid or trade in low volumes and thus may be more difficult to value and pose a substantial risk of default.

Investments in emerging market securities are generally considered speculative and involve additional risks relating to political, economic and regulatory conditions.

Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

**Please see additional risks on the following page.**

## Risk Considerations (continued)

Extension risk is the risk that, when interest rates rise, certain obligations will be paid off by the issuer (or other obligated party) more slowly than anticipated, causing the value of these debt securities to fall. Rising interest rates tend to extend the duration of debt securities, making their market value more sensitive to changes in interest rates.

Floating rate securities are structured so that the security's coupon rate fluctuates based upon the level of a reference rate. As a result, the coupon on floating rate securities will generally decline in a falling interest rate environment, causing a fund to experience a reduction in the income it receives from the security. A floating rate security's coupon rate resets periodically according to the terms of the security. Consequently, in a rising interest rate environment, floating rate securities with coupon rates that reset infrequently may lag behind the changes in market interest rates.

The market for forward contracts is substantially unregulated and can experience lengthy periods of illiquidity, unusually high trading volume and other negative impacts, such as political intervention. Forward contracts can increase a fund's risk exposure to underlying references and their attendant risks, such as credit risk, currency risk, market risk, and interest rate risk, while also exposing a fund to counterparty risk, liquidity risk and valuation risk, among others.

The risk of a position in a futures contract may be very large compared to the relatively low level of margin a fund is required to deposit and a relatively small price movement in a futures contract may result in immediate and substantial loss relative to the size of margin deposit.

High yield securities, or "junk" bonds, are less liquid and are subject to greater market fluctuations and risk of loss than securities with higher ratings, and therefore, are considered to be highly speculative.

A fund's income may decline when interest rates fall or if there are defaults in its portfolio.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Inflation-indexed debt securities, such as TIPS, are subject to the same risks as other debt securities. Although the holders of TIPS receive no less than the par value of the security at maturity, if a fund purchases TIPS in the secondary market whose principal values have previously been adjusted upward and there is a period of subsequent declining inflation rates, a fund may receive at maturity less than it invested and incur a loss.

Interest rate risk is the risk that the value of the debt securities in a fund's portfolio will decline because of rising interest rates. Interest rate risk is generally lower for shorter term debt securities and higher for longer-term debt securities.

Leverage may result in losses that exceed the amount originally invested and may accelerate the rates of losses. Leverage tends to magnify, sometimes significantly, the effect of any increase or decrease in a fund's exposure to an asset or class of assets and may cause the value of a fund's shares to be volatile and sensitive to market swings.

To the extent a fund invests in floating or variable rate obligations that use the London Interbank Offered Rate ("LIBOR") as a reference interest rate, it is subject to LIBOR Risk. LIBOR has ceased to be made available as a reference rate and there is no assurance that any alternative reference rate, including the Secured Overnight Financing Rate ("SOFR"), will be similar to or produce the same value or economic equivalence as LIBOR. The unavailability or replacement of LIBOR may affect the value, liquidity or return on certain fund investments and may result in costs incurred in connection with closing out positions and entering into new trades. Any potential effects of the transition away from LIBOR on a fund or on certain instruments in which a fund invests is difficult to predict and could result in losses to the fund.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

A fund that holds cash or invests in money market or short-term securities may be less likely to achieve its investment objective and could lose money.

Mortgage-related securities are more susceptible to adverse economic, political or regulatory events that affect the value of real estate.

The values of municipal securities may be adversely affected by local political and economic conditions and developments. Income from municipal securities could be declared taxable because of, among other things, unfavorable changes in tax laws, adverse interpretations by the Internal Revenue Service or state tax authorities, or noncompliant conduct of an issuer.

There are no government or agency guarantees of payments in securities offered by non-government issuers, therefore they are subject to the credit risk of the issuer. Non-agency securities often trade "over-the-counter" and there may be a limited market for them making them difficult to value.

Securities of non-U.S. issuers are subject to additional risks, including currency fluctuations, political risks, withholding, lack of liquidity, lack of adequate financial information, and exchange control restrictions impacting non-U.S. issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

Because OTC derivatives do not trade on an exchange, the parties to an OTC derivative face heightened levels of counterparty risk, liquidity risk and valuation risk.

High portfolio turnover may result in higher levels of transaction costs and may generate greater tax liabilities for shareholders.

Preferred securities combine some of the characteristics of both common stocks and bonds. Preferred stocks are typically subordinated to other debt instruments in terms of priority to corporate income, and therefore will be subject to greater credit risk than those debt instruments.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Prepayment risk is the risk that the issuer of a debt security will repay principal prior to the scheduled maturity date. Debt securities allowing prepayment may offer less potential for gains during a period of declining interest rates, as a fund may be required to reinvest the proceeds of any prepayment at lower interest rates.

If a fund's counterparty defaults on its obligations and a fund is delayed or prevented from recovering collateral, or if the value of the collateral is insufficient, a fund may realize a loss.

A fund may be unable to sell a restricted security on short notice or only sell them at a price below current value.

Companies that issue loans tend to be highly leveraged and thus are more susceptible to the risks of interest deferral, default and/or bankruptcy. Loans are usually rated below investment grade but may also be unrated. As a result, the risks associated with these loans are similar to the risks of high-yield fixed income instruments. The senior loan market has seen a significant increase in loans with weaker lender protections which may impact recovery values and/or trading levels in the future.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Investments in sovereign bonds involve special risks because the governmental authority that controls the repayment of the debt may be unwilling or unable to repay the principal and/or interest when due. In times of economic uncertainty, the prices of these securities may be more volatile than those of corporate debt or other government debt obligations.

Swap agreements may involve greater risks than direct investment in securities and could result in losses if the underlying reference or asset does not perform as anticipated. In addition, many swaps trade over-the-counter and may be considered illiquid.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

The purchase of securities on a when-issued, TBA ("to be announced"), delayed delivery or forward commitment basis may give rise to investment leverage and increase a fund's volatility and exposure to default.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. By providing this information, First Trust is not undertaking to give advice in any fiduciary capacity within the meaning of ERISA, the Internal Revenue Code or any other regulatory framework. Financial professionals are responsible for evaluating investment risks independently and for exercising independent judgment in determining whether investments are appropriate for their clients.

## Definitions

**Standard Deviation** is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. The **Bloomberg U.S. Aggregate Bond Index** covers the investment-grade, U.S. dollar-denominated, fixed-rate taxable bond market, including Treasuries, government-related and corporate securities, MBS, ABS, and CMBS.

## ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではなく、記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2024061208

---

**Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）**

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会  
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）  
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp